



We Serve

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区(東京) キャビネット事務局: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-10-17 新宿ダイカンプラザB館 2階

Lions Clubs International District330-A(Tokyo) Cabinet Office:2F,Shinjuku Daikan Plaza.,10-17,Nishishinjuku 7chome,Shinjuku-ku,Tokyo,160-0023,Japan

TEL 03-5330-3330 FAX 03-5330-3370 E-MAIL cab@lions330-a.org URL <http://www.lions330-a.org>

2007年1月29日

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区

CSFⅡナショナルコーディネーター 様
前地区ガバナー・名誉顧問会議長 様
元地区ガバナー・名誉顧問 様
キャビネット幹事・会計 様
330複合地区役員 様
リジョン・チェアパーソン 様
ゾーン・チェアパーソン 様
各委員会委員長・会計監査 様
キャビネット事務局長・副幹事・副会計 様
各委員会副委員長・委員 様

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区
ガバナー L 森山 勇

プロトコールの変更について

拝啓 時下益々ご清祥のことお慶び申し上げます。

さて、去る2007年1月23日に開催されました臨時第1回キャビネット会議におきまして、国際理事会の決議事項により330-A地区におけるプロトコールを変更する旨、ご報告申し上げましたが、再度国際理事会でプロトコールについて審議されるとの通達があり、それまでは国際会長権限により以前のプロトコールを適用することとなりました。330-A地区においても添付致しました以前のプロトコールを適用したく通達申し上げます。

敬具



国際理事ミニレター (瓦版)

国際理事 山田 實 紘

正月は過ぎましたが、まだ暮の内の1月7日よりシカゴ・オークブルック本部での執行委員会と長期計画委員会に出席してまいりました。

執行委員会には私自身、事前に二つの案件を提出しておりました。一つはプロトコルの件、もう一つはライオンズクラブ国際協会日本事務所の件です。皆様、ご存知のようにプロトコルにおけるCSFIIコーディネーターの順位が、昨年在北京・国際理事会におけるPR委員会で改定されました。この結果、コーディネーターの順位が地区ガバナーの次に位置されてしまったのです。この改定によって、コーディネーターよりこのプロトコルでは寄付金を集めることができなくなるとのクレームが出され、何とか以前のプロトコルへ戻して欲しいとの要望が多くありました。私もその意見に賛成でしたので、今回の執行委員会へ再度見直し案を提出しました。ジミー・ロス国際会長並びにアショク・メータLICF理事長も、日本からの集金額が最も多いため、日本のやり易い方法がよかるうと言うことで本案を可決しました。次回のテキサス・サンアントニオでの理事会において再考を促すことになり、それまでは国際会長権限で以前のプロトコル順位に従ってよいというお墨付きをもらいました。

もう一つの課題はライオンズクラブ国際協会日本事務所の件です。春にでもなれば皆様のお耳に自然と入ることと思いますので、ここに詳細を記することは敢えて控えることといたします。いずれにせよ、よい方向に進んでおりますのでご心配無用かと存じます。

さて、今回、大荒れに荒れた件は、長期計画委員会における理事定数の変更の問題です。アショク・メータ直前会長とアマラスリヤ第一副会長よりISAAMEの理事数増加を求める提案があり、委員会は嗟々嚔々で大いに盛り上がりました。

この件は、北京理事会でも提出され、解決策が出ず持越しとなった案件です。アメリカの会員数がライオンズクラブ全体の50%を切っているのに、いまだに過半数に近い理事定数を支配しているのはおかしいとの指摘があります。本案件は既に懸案事項として過去5年間持ち越されています。本年度はISAAMEよりメータ直前会長とアマラスリヤ第一副会長が、またOSEALより私がメンバーになっており、長期計画委員会としては近年になく3名もアジア票が占めているのです。このチャンスを逃したらしばらくは本案件を取り上げる機会はありません。最後のチャンスとしてメータ直前会長とアマラスリヤ副会長が協力して提出しています。

当然、OSEALの理事数も増やさなければなりませんので、私にも協力しろとってきます。しかし



ロブ・フスキー元国際会長は、ライオンズクラブはアメリカで創設された組織であり、アメリカ主導で行くのが当然である点を理解して欲しいと言います。キャスティングボードを握る私としては、両サイドよりの協力要請に非常に悩む立場となり、答えに大いに窮し苦勞しました。

始めの提案では、理事は会員4万人に一人の割合で調整するとのことでした。そうしますとアメリカの理事数が半減することになります。理事を会員数5万人に一人にすると、更にアメリカ出身の理事は激減します。どちらにしてもOSEAL地域の理事数は増加することになるのですが…。私の考え方としては国際理事数をもっと少なくすることが基本原則で、少数精鋭でしっかりした理事軍団としての運営が大切だと思うのです。数だけ多くして、理事としての名誉だけで出席している者は全て切り捨てるべきだと言うのが私のモットーです。OSEALからの理事数が増えてもあまり意味はなく、会費を払わない幽霊会員で水ぶくれした実態を伴わない会員数で理事数を獲得するのめどうかと思えます。これは、ISAAMEではインド、OSEALでは韓国が該当します。

お互いに激論の中で、次のように落ち着きました。結果、ISAAME、OSEAL、EUROPEは理事を各地域1名ずつ増やし、アメリカ、南アメリカ地域より1名ずつ減らすことでようやく決着がついたのです。両者の主張が、互いの面子をなんとか保ちながら、妥当な線で収まったということです。しかしながら、もっとリストラすべきと考える私は秘密裏に両サイドより説得され、すっきりした気持ちにはなれない結果でした。いずれにせよ、本件はサンアントニオの理事会で提案され、最後にはシカゴの国際大会の代議員投票により決定されることとなりました。

この様に、執行委員会、長期計画委員会是一般の委員会とはかなり違い、特殊な委員会、言わば「ライオンズの奥の院」で外部からは覗き見できないところであり、やりがいもあり面白いところでもあります。私の任期は残り少ないのですが、今後も日本より選出される理事が何とかこのポストを取ることを願っています。しかし、本委員会は国際会長の専任事項である以上、こちらではどうしようもないのが残念です。

また、空席であった事務総長のポストにピーター・リンチ氏が就任することになりました。本案件に対しては日本的考えからすると、一年は事務総長代行を全うすべきだと私は考え、メンバーの中でただ一人反対しました。会長提案に反対の立場をとった私のスタンスに対し、「あまり面と向かって反対しない方がいい」とありがたい忠告をいただきましたが、やはり自分の意見は意見です。イエスマンでは私自身が納得いかないのです。はっきりNOと言ったことが、皆を驚かせてしまったようです。しかし、このくらいで気を悪くするような会長ではありません。夜にはワインを飲みながら、スペイン語でお互いに肩を抱き合いながらテキサスの歌を歌い合いました。今回はいろいろなことがあった会議でした。

(平成19年1月10日 午前10時/シカゴ・オヘア空港のラウンジにて)

2006～2007年度公認プロトコール

1. 国際会長
2. 前国際会長
3. 国際副会長（地位の順）
4. 国際理事（国際理事会アポインティ）
5. 元国際会長
6. 元国際理事
7. CSFⅡナショナル・コーディネーター
8. ミッション30国際チームリーダー
9. 複合地区協議会議長
10. CSFⅡMD／セクターコーディネーター
11. 地区ガバナー
12. CSFⅡ地区コーディネーター
13. 協会事務総長
14. 協会幹事
15. 協会会計
16. 元協議会議長
17. ミッション30複合地区コーディネーター
18. 前地区ガバナー
19. 副地区ガバナー
20. 元地区ガバナー
21. ミッション30地区コーディネーター
22. 複合地区幹事（ボランティア）
23. 複合地区会計（ボランティア）
24. キャビネット幹事
25. キャビネット会計
複合地区委員長・複合地区監査委員・複合地区委員
26. CSFⅡグループ・コーディネーター
27. リジョン・チェアパーソン
28. ゾーン・チェアパーソン
29. 地区委員長・地区監査委員・地区委員
30. クラブ会長
31. 前クラブ会長
クラブ副会長
32. クラブ幹事
33. クラブ会計
34. 元クラブ会長
35. 複合地区幹事（職員）
36. 複合地区会計（職員）

2006～2007年度330-A地区レベルにおける
地区年次大会、周年行事、チャーター・ナイト、公式訪問等のプロトコール

1. 国際会長
2. 前国際会長
3. 国際副会長（地位の順）
4. 国際理事（国際理事会アポインティ）
5. 元国際会長
6. 元国際理事
7. CSFⅡナショナル・コーディネーター
8. ミッション30国際チームリーダー
9. 複合地区協議会議長
10. CSFⅡMD／セクターコーディネーター
11. 地区ガバナー
12. CSFⅡ地区コーディネーター
13. 協会事務総長
14. 協会幹事
15. 協会会計
16. 元協議会議長
17. ミッション30複合地区コーディネーター
18. 前地区ガバナー
19. 副地区ガバナー
20. 元地区ガバナー
21. ミッション30地区コーディネーター
22. 複合地区幹事（ボランティア）
23. 複合地区会計（ボランティア）
24. キャビネット幹事
25. キャビネット会計
複合地区委員長・複合地区監査委員・
複合地区副委員長・複合地区委員
26. CSFⅡグループ・コーディネーター
27. リジョン・チェアパーソン
28. ゾーン・チェアパーソン
29. 地区委員長・地区監査委員・地区キャビネット副幹事・
地区副委員長・地区委員
30. クラブ会長
31. 前クラブ会長
クラブ副会長
32. クラブ幹事
33. クラブ会計
34. 元クラブ会長
35. 複合地区幹事（職員）
36. 複合地区会計（職員）